



夢に向かって

自分の意思を持った強い大人になりたい——

菅野 ^{ゆりあ} 結渚杏 さん (県北中3年) 第23回

僕の将来の夢は、工場などで”ものづくり”に携わる仕事に就くことです。自動車やバイクなどにも興味があって、そういった工業製品も作ってみたいと思っています。中学生になって将来のことを考え、受験を意識したときに、ものづくりに対する興味が湧いてきました。工学系の高校に進学し、知識を深めたいと思っています。

今はとにかく、第一志望の高校合格に向けて受験勉強を頑張っています。特に英語が苦手ですが、集中して取り組んでいます。部活動では、特設陸上部の部長や男子

バスケットボール部の副部長を務めました。どちらも部員をまとめるのが大変でしたが、積極的に声を出したり雰囲気盛り上げ、みんなで目標に向かって頑張ることができたと思います。また、応援団では団長を務めました。大勢の前でも緊張することなく楽しんで、みなさんにエールを送ることができました。

大人になったら、多くの人から頼りにされるようになりたいです。ダメなことにはきちんとダメと言えるような、自分の意志を持った大人にもなりたいと思います。そして、仕事をするときは集中して仕事をして、休む時はしっかり休んでプライベートを大事にできるような、メリハリのある生活をしたいです。



町長コラム

ま 真 ころむ

【第32回】

余裕の暇

庭の紅梅が咲いてた。満開。見てたはずなのに、見えてなかった。気付かなかった自分に「おいおい、余裕、持てよ」と。

東日本大震災、2度の地震のときも、木々は芽吹き、花咲き、実をつけた。ヒト以外の生き物の動じない様子に感心したことを思い出す。

そんなことを思っていたら、びっくり。昨日、応接室にお内裏様がお越しになった。佐藤和子さんの手作り。すっきりとデフォルメ（簡素化）されてるけど、模様和紙で丁寧に作られてる。これが何とも素敵で愛らしい。殺風景な応接室にホンワリとした雰囲気を醸し出してる。うれしいサプライズ。

そういえば、あつかし歴史館でもひなまつりが催されるし、町内の菓子店には「うぐいすもち」の看板も掲げられてる。少したつとこれが「さくらもち」に変わる…。これも季節を感じさせる私たちの暮らしの一コマ。折々の暮らしの中にある季節の移ろいに気付くと、張り詰めている心が少し和らぐような気がする。

目の前にあるコトやモノを見てはいるけど、見えていないのは、私たちが暮らす国見町の宝ものを見失ってしまうことなのかもしれない。満開の紅梅にも気付かないほど忙しい日々の中でも、余裕いとまの暇を持ちたいと思う。そのことを改めて気付かせてくれたお内裏様だった気がする。



▲応接室に飾られたお内裏様

引地 真